

2020年3月26日
フューチャー株式会社
(東証一部:証券コード 4722)

フューチャー、大阪大学、ファンペップの共著論文が 第60回バイオ情報学研究会にて「SIGBIO優秀プレゼンテーション賞」を受賞

フューチャー株式会社(東京都品川区、代表取締役会長兼社長 グループCEO:金丸恭文、以下フューチャー)、国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科(大阪府吹田市、総長:西尾章治郎、以下大阪大学)、株式会社ファンペップ(大阪府茨木市、代表取締役社長:三好稔美、以下ファンペップ)の共著論文『注意機構付きLSTMを用いた抗原タンパク質のエピトープ領域予測』が、第60回バイオ情報学研究会(一般社団法人情報処理学会主催、2019年12月)の「SIGBIO優秀プレゼンテーション賞」を受賞しました。

フューチャー、大阪大学、ファンペップは、抗体誘導ペプチドを効率的に開発するAIについて共同で研究し、機械学習や深層学習の技術を活用した抗原探索システムの開発に取り組んでいます。論文はこの研究の成果の1つであり、フューチャーの最先端のAI技術に特化した専門組織である「Strategic AI Group」がバイオ情報学研究会で発表しました。

論文では、従来自然言語処理の分野で多く用いられてきた深層学習の一種である「注意機構付きLSTM」をバイオ領域である抗原タンパク質のエピトープ領域予測に適用し、さらに抗原タンパク質の特徴に着目したモデルの改良を加えることで、従来の手法を上回る予測精度を達成できたことを示しています。

フューチャーは、大阪大学とファンペップと協力しながらAIの活用により抗体誘導ペプチドを効率的に開発する技術を確立することで、癌や難治性疾患、生活習慣病など生涯投薬が必要な疾患の治療における医療費負担の大幅な軽減や、より多くの患者への有効な早期治療の実現に貢献していきます。

(参考)

大阪大学、ファンペップと抗体誘導ペプチドを効率的に開発するAIについて共同研究
～機械学習・深層学習の技術を活用したワクチン用抗原探索システムの開発を開始～
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000297.000004374.html>

● フューチャー株式会社 概要

代表者 : 代表取締役会長兼社長 グループ CEO 金丸 恭文

設立 : 1989年11月28日

URL : <https://www.future.co.jp>

● 本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当 高橋

TEL : 03-5740-5723 E-mail : groupmarketing@future.co.jp